

ことばの力

これで発表会を終わります
見てください

ありがとうございます
ありがとうございました

ありがとうございます
松の実保青園にします

これは先の「第3回松の実生希
発表会」で、なごら組の子どもたちが
考えて、よななまじお松をしたおわ
りのことばです。

新しい年が始まります。

新しい年も「ありがとうの花」を包
まれて、あたたかい気持ちで迎える
ように、言葉の力を借りて幸せ
をつくり出してほしいと思います。

日々の生活はいつもほんのり嬉
しいことばかりではありません。

不安になったり落ち込んだりしま
うそんな時にこそ、他人にも子ども
たちにも、勿論自分に対しても殊

「東に意識して肯定的な優しい
ふわりとした言葉をかけて必まらる。

「言葉には力がある」
「言葉は人の心に影響する」

と言われるように、言葉と感情
には密接な関係があるのです。

あたたかい響きの肯定的な言
葉を考えて使えば、自分もまわり

の人たちも気分が良くなりますが
否定的な言葉では気分が沈んで
しまいます。

誤解されることだつてあるかもしれ
ません。

「考える」というのは、様々な感情
を心の中へ「ことば」にして思い

はかることを言います。のる、肯
定的に「考える」ことによつて、あ

たかくやわらかい言葉を話せる
ようになり、幸せを運びられ

ると思えます。

一月は
「明けましておめでとうございませう」
と、喜ぶべきからあつた。

「ありがとうございませう」と、感謝
の思いを伝え

「よろしくお願ひします」と、謙虚
な気持ちで向きあひ。

希望を託した明るい言葉が数多
く交わされるお正月が始まります。

お正月を機念に温かく、思い
やりに満ちた美しい言葉をたく

さへ探して、考えて心に満たし、
その言葉の力を借りてあつての

喜びも「楽しんで、幸せ」と感
じられる毎日にしてあげたいと思つて
います。

ありがとうございます
松の実保青園にします

ありがとうございます
松の実保青園にします

言ってくれた子どもたちに心であ
る一年は大人たちが心して「ことば」の

力を育んでいくことが、始めだ
と、折言い新たに二〇一五年を迎え
ます。

園長 橋田孝子

427 / 14号